

大切な命を救うため、応急手当を身につけましょう!

平成27年中の救急出動件数は8,291件で、救急搬送人員は7,792人でした。
1日当たりの出動件数は、22.7件となります。

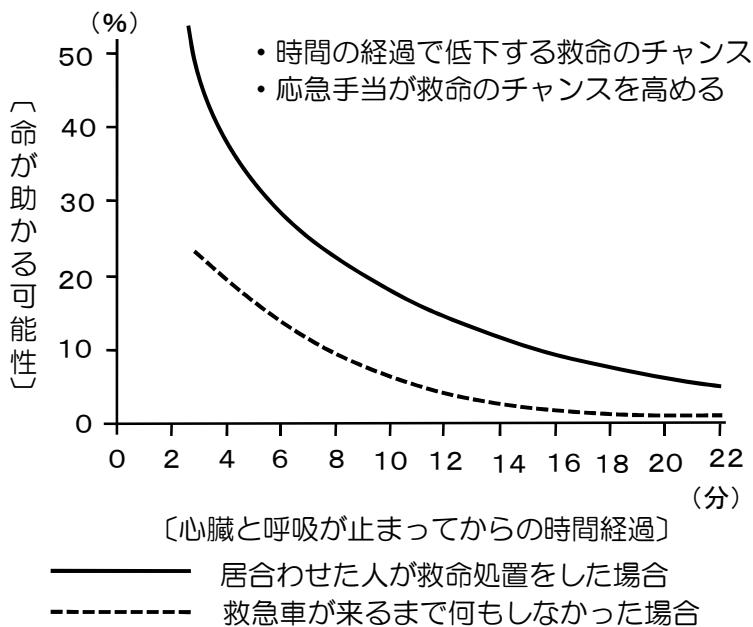
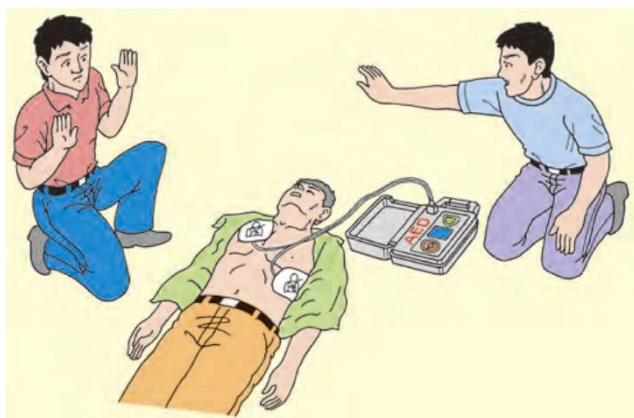
8,291件のうち応急手当として救命処置(心肺蘇生)を必要としたのは251件でした。このうち、住民による救命処置が行われていたのは124件でした。

救命処置を必要とした人の社会復帰率を全国的に見ると、救命処置を行っていた場合は行っていなかった場合の約1.5倍となっています。

応急手当をするバイスタンダーを増やすために、当消防本部では救命講習会を開催しておりますので、より多くの方に受講していただきたいと思っております。

右の図は、心臓と呼吸が止まった際、バイスタンダーによる応急手当によって、救命のチャンスが高まることを示したものです。

※AEDを使用すると、より効果が高まります。



※心肺蘇生: 胸骨圧迫と人工呼吸 バイスタンダー: その場に居合わせた人 AED: 自動体外式除細動器(電気ショック)

9月9日は「救急の日」です。

救 急

「救命の連鎖」(Chain of Survival)

